

平成17年度 第1回社会教育委員の会議 会議録

- 1 開催日時 平成17年8月23日(火)  
午後2時~午後3時35分
- 2 開催場所 宇都宮市役所 議会棟3階 第1委員会室
- 3 出席委員 16名  
金子委員長, 福田副委員長, 齋藤副委員長, 新沼委員, 深澤委員,  
篠崎委員, 櫛淵委員, 山野井委員, 四宮委員, 鶴見委員, 石原委員,  
遠藤委員, 山口委員, 中島委員, 渡辺委員, 荒川委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 議事
  - (1) 報告事項  
「地域子ども教室推進事業」の取り組み状況について  
平成17年度栃木県社会教育委員協議会評議員の選出について
  - (2) 協議事項  
宇都宮市図書館協議会委員の選出について  
平成17年度関東甲信越静社会教育研究大会への参加について  
第47回(平成17年度)全国社会教育研究大会への参加について
- 7 発言の要旨

金子委員長	会議次第に基づき、議事を進めてまいります。 報告事項の 「地域子ども教室推進事業」の取り組み状況について、 事務局から説明願います。  〔事務局説明〕
金子委員長	ただ今の説明について、ご意見、ご質問があればお願いします。
齋藤副委員長	学童保育とは違うと解釈していいのですね。文部科学省のこういった事業は、自治体が行い始めると、国の委託期間終了だから終わり、というわけにはいかないと思うが、今後どのようにするつもりなのか。
事務局	県には継続の予算化を要望しているが、見直しを含めて検討中である。

山野井委員	<p>体育協会においても居場所づくりを全国で展開しており，泉が丘スポーツクラブが手を挙げている。これらの動きを含めた継続を検討してほしい。</p>
四宮委員	<p>そもそも，この事業は行政ルートで実施を募集したところ思わしくなく，体育協会や子ども会などの民間団体にも声をかけ，募集を広げていったという経緯がある。元は同じ事業が地域で混乱しており，そうした文部科学省のやり方にも問題があると思うが，県や市町村のほうも，時限3年間の終了後どうするのか，しっかりと考え直したほうが良い。今のやり方をそのまま継続するという考えは拙速である。</p>
渡辺委員	<p>公募を行ったということだが，応募数や決定基準はどのようなものだったか。</p>
事務局	<p>問い合わせは26件あり，実施回数など条件を満たした4団体を申請した。最終的には国が決定したもの。</p>
荒川委員	<p>委託料の積算根拠は何か。</p>
事務局	<p>委託料の主なものはボランティアへの謝金である。</p>
荒川委員	<p>今後見直しをしていくということだが，明確な方向付けは無いのか。予算措置や，全ての地域に広げるのかどうかなど，大きな柱を検討する必要がある。この会議もその責任の一端を担うと思うのだが。また，留守家庭児童会は，基本的に共働きの親たちを支援するものであり，性質上，この範疇ではないと思う。</p>
遠藤委員	<p>地域の教育力向上というのは，国の教育施策の大きな流れである。改訂前の学習指導要領にあった学校の必修クラブなどは，ある意味居場所の一つだった。そうしたものが地域や社会教育に任せられるようになってきたわけだが，子どもたちが仲間たちや大人たちとの接点を持つという機会は，重要なこと。これを国だけでなく，市の施策としてどうつなげ，発展させるかの検討が必要なのではないか。</p>
四宮委員	<p>この事業における文部科学省の手法というのは，当初，毎日実施することが原則であるなど，無理のあるものだった。そういうものをそのまま継続するのではなく，人づくりという視点で，あらためて子ども達にとって何が必要なのか，居場所がどうあるべきかを考え直してはどうかということ。事業の趣旨自体は非常に大切なことだと思うので，ぜひ中身をよく検討し直してほしい</p>

山野井委員      こういった地域教育力の発揮の場というのは、子どもの居場所だけでなく、大人の居場所でもある。地域の活性化としても役立つのではないかと。また、日頃顔をあわせる活動をすることによって防犯活動にもつながる。これは今後の体協の課題でもあるので、さらに取り組みを進めていきたい。

福田副委員長      西原の土曜クラブの例をあげると、行事が行われれば留守家庭以外の子どもたちも集まってくる。文科省とか厚労省とか、そういう省庁の違いはあっても、地域として活動するときは一つ。こうした地域の実情を踏まえ、宇都宮としての独自の方策を早く示してほしい。

鶴見委員      今回、自分たちも取り組みに加わりたかったが、準備の時間がなかった。行政の縦割りが問題になっているが、社会教育という枠を越えた検討も必要なのではないか。「子ども」という大きなくくりでの分け方を考えてもいいのでは。

金子委員長      まだまだご意見はあるようだがこの件については、以上でよろしいでしょうか。

一同      異議なし。

金子委員長      では次に、報告事項の  
「栃木県社会教育委員協議会評議員の選出について」  
を事務局から説明願います。

〔事務局説明〕

金子委員長      ただ今の説明について、ご意見、ご質問があればお願いします。

一同      異議なし。

金子委員長      それでは、齋藤副委員長さん、本市の代表として、引き続きよろしくお願います。

金子委員長      協議事項に入ります。  
「宇都宮市図書館協議会委員の選出について」を議題といたします。  
事務局から説明願います。

〔事務局説明〕

金子委員長      説明が終わりました。

ただ今，事務局から候補者名が挙げられましたが，いかがでしょうか。

一同 異議なし。

金子委員長 ありがとうございます。  
それでは，梅園委員さんへ，事務局よりよろしくお伝え願います。

金子委員長 続いて，協議事項の  
「平成17年度関東甲信越静社会教育研究大会への参加について」，  
及び 「第47回全国社会教育研究大会への参加について」の  
2つをまとめて議題とします。事務局から説明願います。

〔事務局説明〕

金子委員長 説明がおわりました。  
今回は，希望のあった4名の委員に参加いただきたいという説明でしたが，何かご意見はございますか。

金子委員長 それでは，関東大会に梅園委員，全国大会に，私と四宮委員，福田委員  
の4名が参加することでよろしいでしょうか。

一同 異議なし。

金子委員長 異議なしとのことですので，そのようにさせていただきます。

金子委員長 次に，その他に入ります。  
委員の皆さまから何かございますか。

篠崎委員 この辺で，今，宇都宮市ではどういう人材を求めているのか，人づくり  
ビジョンに基づき，はっきりした柱を打ち出してはどうか。その柱を踏ま  
え，この部分はどこの部署でやる，とか，その延長にこの（地域子ども教  
室）事業や学童保育もあるのだと。その際は，組織も分かりにくさをなく  
し，目的が同じであればひとつにまとめる，などの考えも出てくると思う。

渡辺委員 社会教育主事の活用も検討してはどうか。地域と行政をつなぐ役割とし  
て，事業に生かせる場面も多いと思う。

四宮委員 前年度より感じていることは，この社会教育委員の会議を，具体的な検  
討の場所として生かしてほしいということ。開催数が少なすぎるのではな  
いか。

新沼委員 間口の広い意見が交わされているようだが、年2回の開催だとすれば、今回の任期の中で、事務局としては何かテーマを絞ってあるのか。

事務局 任期の2年間で、家庭と地域の教育力向上に関する意見書の作成をお願いしたいと考えているところ。

篠崎委員 掘り下げた議論にするには時間が足りないのでは。年2回とはいわず開催すべき。報酬はいらぬ。

金子委員長 この件については正副委員長に一任してほしい。  
あらためて事務局からありましたらお願いします。

事務局 〔県社会教育委員協議会主催研修の開催について、及び  
うつのみやのまちづくり市民会議の公募委員募集について、を説明。〕  
〔次回の開催日程 - 10月3日(月)開催予定〕

金子委員長 この他は、特にならぬようですので、これをもちまして、本日の会議を終了したいと思います。  
熱心なご審議、誠にありがとうございました。